

令和8年度 早川中学校学校経営方針

1 学校教育目標 (平成2年制定, 平成17年, 令和5年に一部文言の修正)

校訓

「修文練武」

心を磨き, 体を鍛え, 確かな学力を身につける

教育目標

自主的精神に富み, 母校や郷土を愛し, 社会の中でたくましく生き, 社会の発展に貢献できる人間の育成。

目指す生徒像

- (1) 心身ともに健康で, 明朗な生徒。(体)
- (2) 自ら学び, 真理を求める生徒。(知)
- (3) 情操豊かで, みんなのためにつくす生徒。(情)
- (4) 強い意志とたくましい実行力をもった生徒。(意)

目指す学校像

- (1) 生徒にとって, 一人一人が大切にされ, 安心して学べる学校
 - ・ 生徒一人一人が規範意識を持ち, 安心して学習や生活ができる。
 - ・ 個々の違いや良さを認め, いじめや不登校をなくす。
 - ・ 校内が清潔であり, 整理整頓されていて, 学習したくなるような環境へと整える。
- (2) 教師にとって, 創意が生かされ働きがいのある学校
 - ・ 確かな学力を身につけさせるために, 「わかる・できる授業づくり」を実践する。
 - ・ 生徒一人一人に愛情をもち, 未来を担う人材の育成に努める。
 - ・ 校務分掌が有機的に結びつき, 相互理解と協調を基盤とした学校づくりに努める。
- (3) 保護者や地域にとって, 開かれた信頼できる学校
 - ・ 保護者や地域へ積極的な情報発信をして, 信頼と協力が得られるようにする。
 - ・ 地域の行事への関心を持ち, 学校教育に外部人材を活用する。

目指す教師像

- (1) 心身ともに健康で, 豊かな人間性を持つ教師。
- (2) 生徒一人一人を大切にする教師。
- (3) 自己研鑽に努め, 互いに学び合い高め合う教師。
- (4) 協働し, 組織的な学校作りに努める教師。

2 学校経営の基本方針

《基本的考え》

確かな学力, 豊かな心, 健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む。

- 基礎・基本を確実に身に付け, いかに社会が変化しようと, 自ら課題を見つけ, 自ら学び, 自ら考え, 主体的に判断し, 行動し, よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ, 他人とともに協調し, 他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

《学校経営方針》

- (1) 早川中教育の伝統を継承しつつ, 創意と特色ある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう, 確かな学力を育む指導と評価に努める。
- (3) 自立心や自律性を高め, 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことに努める。
- (4) 体育・スポーツ及び健康・安全に関する基礎・基本となる資質や能力の育成に努める。
- (5) キャリア教育の充実を図り, 社会や環境の変化に対応できる人間の育成に努める。

- (6) 充実した学習活動を支える、安心・安全な教育環境づくりに努める。
- (7) 家庭や地域社会に開かれた、信頼される学校づくりの推進に努める。
- (8) 教職員としての専門性や指導力を高め、理解と協力の和で結ぶ組織的な学校づくりに努める。

3 学校経営の重点と努力点

- (1) 確かな学力の育成
 - ① 基礎基本の定着と学習意欲向上のための指導方法と評価方法の工夫・改善を図る。
 - ② 一人一人の能力適性を的確に把握し、個に応じた指導の工夫をする。
 - ③ 言語活動を通して、教科等で習得した知識や技能を活用する学習活動を推進する。
 - ④ 自ら課題を見つけ、考え、判断する、自主的な学習の意欲化に努める。
- (2) 豊かな心の育成
 - ① 望ましい生活習慣を身につけさせ、社会生活に必要な資質を高める。
 - ② 全教育活動を通して生命の教育を推進し、生き方（生命・共生・平和・性・環境・人権）について、主体的に考え行動できる資質を培う。
 - ③ 学校・家庭・地域社会との連携を図り、あらゆる人間関係の中で、思いやりの心、しなやかな心を育て、豊かな人格形成を目指す。
 - ④ 朝読書の継続的な取り組みなど読書活動を充実し、豊かな心を育む。
 - ⑤ 文化活動のさらなる推進を図り、豊かな感性を育てる。
- (3) たくましい体をつくる体育・健康・安全教育の充実
 - ① 保健体育の授業を中心に、自ら運動を実践する態度を育成する。
 - ② 体力づくりを積極的に展開する。
 - ③ 基本的な生活習慣の確立により、心身の健全発達を図る。
 - ④ 自他の命の大切さや安全意識の向上について、計画的・系統的に指導し、危険から身を守る知恵の育成に努める。
 - ⑤ 給食指導を通して食教育を推進し、食に対する基本的知識を身につけさせる。
- (4) キャリア教育
 - ① 体系的・系統的なキャリア教育を推進する。
 - ② 職業体験等を通じて、働くことの尊さや、職業に対する認識を高める指導に努める。
 - ③ 自分の良さを知り、主体的に進路選択できる意欲・態度や能力を高める。
- (5) 安心安全な教育環境づくり
 - ① 学校安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と、安全管理体制の強化に努める。
 - ② 衛生的な環境づくりに努める。
 - ③ 学校事故の防止及び安全指導の徹底に努める。
- (6) 信頼される学校づくり
 - ① 家庭や地域社会との積極的な交流、協力体制の促進に努める。
 - ② 学校評価の結果公表などにより、学校の説明責任を果たすように努める。
- (7) 地域との連携、小・中の連携
 - ① 地域素材の教材化を推進し、ふるさと早川を生かした授業実践に努める。
 - ② 義務教育9年間を見通した教育課程の編成に努める。
 - ③ 小学校・中学校がお互いの教育活動を理解し、各学校の行事や英語を軸に連携の取組を推進する。

4 各領域等の指導重点

- (1) 生徒指導
 - ① 生徒指導は自己指導能力を育成していくという視点に立ち、生徒指導の三機能（自己存在感・共感的な人間関係・自己決定の場）を取り入れた教育活動を推進する。
 - ② 日常生活において、生徒一人一人との心のふれあいを重視し、愛情と深い信頼に基づく好

ましい人間関係をつくる。

- ③ 学校・家庭・地域社会との連携を密にし、望ましい生徒の育成に努める。
- ④ いじめの未然防止，早期発見・早期解決のため，全職員共通理解のもと，学校をあげて適切に対応する。
- ⑤ インターネット利用に関する様々な課題(SNSトラブル，ゲーム依存，学力不振，不登校など)に対して家庭と連携し，情報収集を図り，適切に対応する。また，必要に応じて外部機関に相談し，解決策を検討する。

(2) 特別活動

〈学級・全校の活動〉

- ① 集団活動を通して，よりよい豊かな人間関係を築く。ex. 全校朝の会・全校道徳
- ② 自己の特性を理解させ，意欲的な活動を通して将来への展望を持たせる。

〈生徒会活動〉

- ① 話し合い活動を基盤として，自主的，実践的態度を育てる。
- ② 学校生活の充実・向上を図る活動を実践する。ex. パワーナップ・ビブリオバトル
- ③ 自主的活動を通して個性の伸張を図り，自治的・公民的資質を培う。

〈学校行事〉

- ① 学校生活をより豊かで充実したものにする，総合的・体験的活動を展開させる。
- ② 適切な指導の下，可能な限り生徒の自主的・実践的活動を取り入れる。

〈朝・放課後〉

- ① 1分間スピーチやフリートーク
- ② 早中タイムの弾力的運用・メンター制度の効果的活用。
※早中タイム・・・ソーシャルスキルトレーニング（SST），学力向上の時間等に使用(昨年度実績)

(3) 情報教育・ICT活用（生成AI，canvaの活用を含む）

- ① 授業のツールとして，ICT機器を積極的に活用する。
- ② 情報源としての図書の利用推進を図る。
- ③ 必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・発信・伝達できる能力を育成する。
- ④ モラルある情報活用能力を培う(生徒指導上の問題とも絡め)。

(4) 福祉教育

- ① 福祉教育と道徳教育の相互の関連を図りながら活動を展開する。
- ② 交流学习等を通して，共に生きる心をはぐくみ，実践する態度を養う。
- ③ 高齢者に対する思いやりやいつくしみの心を育てる。

(5) 特別支援教育

- ① 校内支援委員会を中心に，生徒の特別な教育ニーズを把握し，必要な教育的支援を行える学校体制づくりを行う。
- ② 個別の指導計画、教育支援計画を対象生徒に合わせ作成、実践する。

(6) 部活動指導

- ① 教育活動の延長としてとらえ，生徒の自主性と個性の伸張を図る。
- ② 自主的，自発的に行動する態度や習慣及び責任感を養う。
- ③ 勝利至上主義ではなく，体力，忍耐力，協調心を養うように留意する。
- ④ 部活動の地域展開を踏まえ，地域クラブとの連携を図る。

令和8年度の重点項目の具体

昨年度おこなってきた取組の継続を基本に，以下のように設定する。

- ① 外部講師による授業・交流校との交流・小学校との連携など，幅広い交流をおこなう。
- ② 生成AI, canva, e-ライブラリを活用した教育効果の検証と町が進める英語教育への協力
- ③ 家庭学習を含めた，学びに向かう姿勢づくりと学力向上
- ④ 子どもたちに求められている資質・能力について研究を深め，校内研究会を中心に実践する。
(R8・R9 金融経済教育推進指定校の位置づけ)



校訓「修文練武」 心を磨き、体を鍛え、
確かな学力を身につける

学校教育目標
自主的精神に富み、母校や郷土を愛し、
社会の中でたくましく生き、社会の発展に貢献できる人間の育成

目指す学校像

- (1) 生徒にとって、一人一人が大切にされ、安心して学べる学校
- (2) 教師にとって、創意が生かされ働きがいのある学校
- (3) 保護者や地域にとって、開かれた信頼できる学校

目指す生徒像＝具体目標

- (1) 心身ともに健康で、明朗な生徒(体)
- (2) 自ら学び、真理を求める生徒(知)
- (3) 情操豊かで、みんなのためにつくす生徒(情)
- (4) 強い意志とたくましい実行力をもった生徒(意)

目指す教師像

- (1) 心身ともに健康で、豊かな人間性を持つ教師
- (2) 生徒一人一人を大切にす教師
- (3) 自己研鑽に努め、互いに学び合い高め合う教師。
- (4) 協働し、組織的な学校作りに努める教師

学校経営の基本方針

《基本的考え》
確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む。

- 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力

《学校経営方針》

- (1) 早川中教育の伝統を継承しつつ、創意と特色ある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力を育む指導と評価に努める。
- (3) 自立心や自律性を高め、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことに努める。
- (4) 体育・スポーツ及び健康・安全に関する基礎・基本となる資質や能力の育成に努める。
- (5) キャリア教育の充実を図り、社会や環境の変化に対応できる人間の育成に努める。
- (6) 充実した学習活動を支える、安心・安全な教育環境づくりに努める。
- (7) 家庭や地域社会に開かれた、信頼される学校づくりの推進に努める。
- (8) 教職員としての専門性や指導力を高め、理解と協力の和で結ぶ組織的な学校づくりに努める。

学校経営の重点と努力点

- (1) 確かな学力の育成
 - ① 基礎基本の定着と学習意欲向上のための指導方法と評価方法の工夫・改善を図る。
 - ② 一人一人の能力適性を的確に把握し、個に応じた指導の工夫をする。
 - ③ 言語活動を通して、教科等で習得した知識や技能を活用する学習活動を推進する。
 - ④ 自ら課題を見つけ、考え、判断する、自主的な学習の意欲化に努める。
- (2) 豊かな心の育成
 - ① 望ましい生活習慣を身につけさせ、社会生活に必要な資質を高める。
 - ② 全教育活動を通して生命の教育を推進し、生き方(生命・共生・平和・性・環境・人権)について、主体的に考え行動できる資質を培う。
 - ③ 学校・家庭・地域社会との連携を図り、あらゆる人間関係の中で、思いやりの心、しなやかな心を育て、豊かな人格形成を目指す。
 - ④ 朝読書の継続的な取り組みなど読書活動を充実し、豊かな心を育む。
 - ⑤ 文化活動のさらなる推進を図り、豊かな感性を育てる。
- (3) たくましい体をつくる体育・健康・安全教育の充実
 - ① 保健体育の授業を中心に、自ら運動を実践する態度を育成する。
 - ② 体力づくりを積極的に展開する。
 - ③ 基本的な生活習慣の確立により、心身の健全発達を図る。
 - ④ 他者の命の大切さや安全意識の向上について、計画的・系統的に指導し、危険から身を守る知恵の育成に努める。
 - ⑤ 給食指導を通して食教育を推進し、食に対する基本的知識を身につけさせる。
- (4) キャリア教育
 - ① 体系的・系統的なキャリア教育を推進する。
 - ② 職業体験等を通じて、働くことの尊さや、職業に対する認識を高める指導に努める。
 - ③ 自分の良さを知り、主体的に進路選択できる意欲・態度や能力を高める。
- (5) 安心安全な教育環境づくり
 - ① 学校安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と、安全管理体制の強化に努める。
 - ② 衛生的な環境づくりに努める。
 - ③ 学校事故の防止及び安全指導の徹底に努める。
- (6) 信頼される学校づくり
 - ① 家庭や地域社会との積極的な交流、協力体制の促進に努める。
 - ② 学校評価の結果公表などにより、学校の説明責任を果たすように努める。
- (7) 地域との連携、小・中の連携
 - ① 地域素材の教材化を推進し、ふるさと早川を生かした授業実践に努める。
 - ② 義務教育9年間を見通した教育課程の編成に努める。
 - ③ 小学校・中学校がお互いの教育活動を理解し、連携に向けた取組を推進する。

学年経営目標		
第1学年	第2学年	第3学年
<p>◎ 早中生としての自覚と誇りを持ち、何事にも協力して活動できる生徒の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自発的な学習態度を身につけ、学力の向上に努める生徒 ・他人の身になって考えることができる生徒 ・規律ある学校生活を送ろうとする生徒 ・心身の健康に自主的に努力する生徒 	<p>◎ 中堅学年としての自覚を持ち、積極的に活動する生徒の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習態度を身につけ、自らの学習課題を解決しようと努める生徒 ・自他を大切にし、望ましい人間関係がつけられる生徒 ・あらゆる活動に積極的・意欲的に取り組む生徒 ・心身の健康に積極的に努力する生徒 	<p>◎ 最高学年としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる生徒の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために主体的に学習し、自ら向上しようと努める生徒 ・思いやりをもって人に接し、広い心で行動することのできる生徒 ・何事にも建設的・創造的態度で積極的に取り組む生徒 ・心身の健康に主体的に努力する生徒